

第6学年 社会科学習指導案

平成22年〇月〇日（ ）第〇校時

指導学級 仙台市立〇〇小学校 6年〇組

指導教諭 〇〇 〇〇

1 小単元名 「源頼朝と鎌倉幕府」

2 小単元の目標

- ・ 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて調べ、武士による政治が始まったことが分かるようにする。
- ・ 京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画について調べ、室町文化が生まれたことが分かるようにする。

3 小単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
源平の戦いから京都の室町に幕府が置かれたころまでの世の中の様子に関心を持ち、進んで調べようとしている。	武士による政治が始まった時期の世の中の様子や、今日的生活文化に直結する要素をもつ室町文化について考えている。	絵画資料、文章資料、年表などを活用して、源平の戦いや鎌倉幕府の始まり、元との戦い、室町文化について調べ表現している。	武士による政治が始まったこと、幕府が全国的に力をもってきたこと、室町文化が生まれたことを理解している。

4 指導にあたって

(1) 小単元について

本小単元は、学習指導要領第6学年の2内容(1)ウエを受けて設定された単元である。ここでは、「源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて調べ、武士による政治が始まったことが分かること」「京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画について調べ、室町文化が生まれたことが分かること」がねらいとされている。

本小単元は、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦い、室町文化の代表的な建造物や絵画について調べさせる。それまでの貴族を中心とした世の中は律令制度の時代であった。それに対し、本小単元で学習する時代は、武士による封建制度の時代である。そして、律令制度から封建制度へ変わる一つの契機となったのが源平の戦いである。この源平の戦いに勝利した源頼朝は、朝廷から認められ鎌倉に幕府を開き、武士による政治が始まった。元との戦いでは、執権北条時宗が中心となってこれを退けようとした。元軍の集団戦術や火薬兵器に苦しみながらも武士たちは戦い、暴風雨にも助けられ元軍は撤退した。

ここでは、源平の戦いにおける源義経の活躍を具体的に調べさせたり、人物画や人物年表、エピソードから鎌倉に幕府を開いた源頼朝の業績を考えたり、絵画資料や文章資料などから元との戦いにおける武士の戦いぶりを調べたりする学習を通して、武士による政治が始まったことが分かるようにしたい。また、室町文化については、金閣や銀閣、雪舟によって描かれた水墨画などの絵画を取り上げて調べ、今日的生活文化に直結する要素をもつ室町文化が生まれたことが分かるようにしたい。

(2) 児童について(男子〇〇名、女子〇〇名、合計〇〇名)

児童は4月より、小単元「米づくりのむらから古墳の国へ」で農耕が始まったころの人々の生活や社会の様子を学んできた。古墳の規模や古墳の広がりなどを調べることを通して、大和朝廷により国土が統一されたことを理解している。また小単元「聖武天皇と奈良の大仏」では、大陸文化を取り入れたこと、大化の改新、大仏造営を調べることを通して、天皇が力をもつようになっていった経緯を知り、藤原道長に代表される貴族の生活を具体的に調べることで、日本風の文化が起こったことを学習してきた。

本小単元を指導するにあたって、児童の歴史の学習についての意識をとらえるために、次の項目でアンケートを行い調査してみた。

(1) あなたは歴史の学習が好きですか。

好き 〇〇人	どちらかというが好き 〇〇人	どちらかというが好きではない 〇〇人	好きではない 〇〇人
-----------	-------------------	-----------------------	---------------

歴史の授業を好意的にとらえている児童が多い。好きな理由としては「いろいろな人物が出てくるからおもしろい」「昔の人や生活を想像するのが好き」など、人物の業績や性格、当時の人々の生活を想像することの楽しさをあげた児童が多かった。一方、好きではない理由としては、「人物や時代の名前を覚えなければいけないから」というものが最も多かった。人物の名前や年代など基本的知識を身につけるときに困難を感じるために、歴史が苦手になってしまう実態があることが分かる。

(2) あなたは、歴史の授業の中で、教科書や資料集で調べる学習が好きですか。

好き 〇〇人	どちらかというが好き 〇〇人	どちらかというが好きではない 〇〇人	好きではない 〇〇人
-----------	-------------------	-----------------------	---------------

教科書や資料集で調べる学習については、苦手としている児童が多い。その理由としては、「詳しくすぎてまとめるのが大変になる」「書いてある言葉の意味が分からない」といった理由をあげている。また、好きな児童は、その理由として「いろいろな情報がのっていて新しい発見があるから」「テーマとは違ったことも書いてあって楽しい」ということをあげている。調べる学習を好んでいる児童の場合は、新しい情報に出会うことによって調べ学習が深まっていくことが予想されるが、調べる活動を苦手とする児童には、個別指導を行っていく必要があること分かる。

(3) あなたは、歴史の授業の中で、友達と話し合う学習が好きですか。

好き 〇〇人	どちらかというが好き 〇〇人	どちらかというが好きではない 〇〇人	好きではない 〇〇人
-----------	-------------------	-----------------------	---------------

話し合う学習を、好意的にとらえている児童の理由を見ると「話し合うと自分が思っていなかったことや想像していないことが友達の意見から出てくるから」「今まで分らなかったことが分かるようになるから」と多様な意見が出てくることのよさを実感している児童が多い。一方、苦手とする児童は「友達と意見が食い違おうとどう言えばいいか分からなくなるから」「自分の意見を言葉にまとめて話すのは苦手だから」と理由をあげている。全体で話し合う際に意見が食い違うことへの戸惑いがあり、整理して話すことに自信をもてないでいる様子がうかがえる。

(3) 指導にあたって

本小単元のねらい及び児童の実態から、次の3点を意識して手だてを講じていく。

①資料提示の工夫

児童が「不思議だな」「どうしてだろう」という疑問がもてるような学習問題づくりを行うために資料提示を工夫する。

- ・前小単元で学習した貴族の生活を表した絵画資料と平治物語絵巻から、武士の地位が貴族をしのぐようになったことに気付かせる。そこから「なぜ武士が力をもつようになったのか」「どんな出来事があったのか」という疑問を引き出していきたい。

②調べ学習と話し合い学習の充実

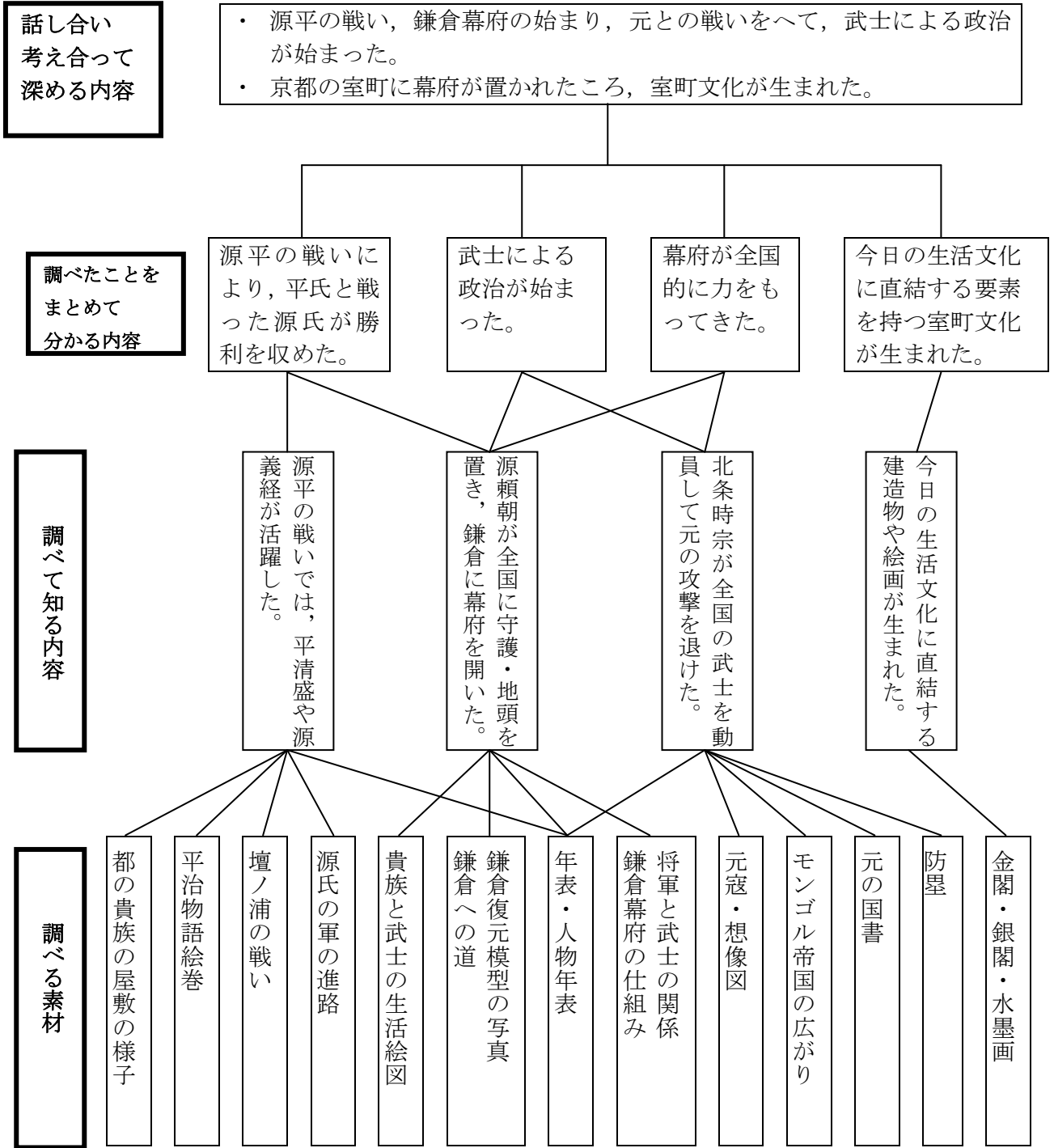
児童の実態から、調べる活動や話し合う活動を意欲的に行わせるために、次の点に力を入れていく。

- ・歴史学習が始まって間もないことを考慮して、調べる際には、関係のある資料を指し示しどのようにまとめるとよいか教えるなどの個別指導を行う。
- ・話し合う学習の際には、児童の思考を整理させるために、全体で話し合う前に、自分のノートに意見を書かせたりペアで話し合わせたりする。

③社会的事象の意味を考える場面の設定

- ・社会的事象の意味を考えさせるために、調べた事実に対する感想や考えを一言メモさせる。それを全体で発表し、友達の意見に対する自分の意見を述べさせることで、社会的事象のもつ意味を考えさせたい。

5 教材構造図



6 小単元の指導計画 8時間扱い

段 階	学習活動（・子供の反応）	○ 教師の働きかけ	評価	資料・準備物
問 い を 見 つ け る	<p>1 平安時代から鎌倉時代の間に、武士の力が貴族をしのぐようになったことに気付く。①</p> <p>○貴族の屋敷の様子から、貴族がどんな生活をしていたか振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ けまりをしている ・ 牛が引く乗り物がある ・ 武士が門番をしている <p>○平時物語絵巻から武士が貴族をしのぐようになったことに気付く。</p>	<p>○資料を見て気がつくことをノートに書かせる。その際には、人物の動き、服装、持っている道具、乗り物などに着目するよう促す。</p> <p>○気がついたことだけでなく、そこから考えられることをノートにメモさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>関心・意欲・態度【発言・ノート】 絵画資料から、この時代の世の中の様子に変化したことに関心をもっている。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 都の貴族の屋敷の様子 ・ 平治物語絵巻
	<p>2 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて、年表で調べ、学習問題をつくる。②</p> <p>○年表で主な出来事を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 源平の戦いでは源氏が勝利した。 ・ 源頼朝が鎌倉幕府を開いた。 ・ 元が2度も攻めてきた。 <p>○年表を読んで、気がついたことや疑問に思ったことをノートに書き出し、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 源平の戦いはどのような戦いだったのだろう。 ・ 頼朝はどのようにして武士たちを従えていったのだろう。 ・ 元はなぜ日本に攻めてきたのだろう。 	<p>○ 人物画を人物年表と関連付けながら提示し、「誰が何をしたか」について理解させる。</p> <p>○ 分からない言葉に赤線を引かせながら年表を読ませる。</p> <p>○ 用語については教える。</p> <p>○ 「なぜ～なのか」「どのような～だったのか」といった言葉をキーワードにして、疑問に思うことを引き出す。</p> <p>○ グループで話し合いながら活動を進められるようにする。</p> <p>○ 児童から疑問が出たら、その答えを他の児童にも予想させ、何をどのように調べるのか、何に焦点をあてるのか明確にしていく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>思考・判断【発言・ノート】 武士による政治が始まった時期の世の中の様子について考え、学習問題を見出している。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 人物画 ・ 人物年表
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>学習問題</p> <p>武士たちは、どのような思いで、どんな政治を行ったのだろうか。</p> </div>			

段階	学習活動（○→内容，・→子供の反応）	○ 教師の働きかけ 評価	資料・準備物
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; margin-bottom: 20px;">問いを深める</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 20px;">調べ考える</div> <div style="writing-mode: vertical-rl;">深めつなげる</div> </div>	<p>3 源平の戦い，鎌倉幕府と源頼朝，元との戦いについて，資料を活用しながら調べ，まとめる。</p> <p>○源平の戦いについて調べまとめる。③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・源義経が活躍した。 ・源氏が勝利した。 <p>○鎌倉幕府と源頼朝について調べまとめる。④⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山や海に囲まれて攻められにくい。 ・源頼朝が全国に守護，地頭を置いた。 ・「ご恩と奉公」の関係 <p>○元との戦いについて調べまとめる。⑥*本時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北条時宗が全国の武士を動員した。 ・武士たちは懸命に戦った。 <p>4 金閣，銀閣，水墨画について調べ，室町文化が生まれたことを知る。⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足利義満，足利義政が金閣，銀閣を建てた。 ・雪舟が水墨画を大成した。 <p>5 活躍した人物の業績をもとに社会的事象の意味を考える。⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の武士とともに，元から日本の国を守ろうと一生懸命戦った。 ・東国を治め，武士の政治を始めた。 	<p>○ 教師の働きかけ 評価</p> <p>○平清盛の年表と源頼朝の年表を比べ戦いの原因を予想させる。</p> <p>○資料から，戦いの様子や結果をとらえさせる。</p> <p>○鎌倉の地形，切通し，京都との位置関係を手がかりに，鎌倉に幕府を開いた源頼朝の業績について考えさせる。</p> <p>○「ご恩と奉公」の関係を中心に，頼朝が武士たちを従えていったことを理解させる。</p> <p>○使っている武器の違い，戦い方の違いに着目させる。</p> <p>○資料から，時宗や武士たちが日本を守るために力を尽くしたことや幕府の力が全国に及んでいたことを理解させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>技・表【活動の様子・ノート】 資料を活用し，調べている。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>知・理【ノート・発言】 武士による政治が始まったことや，幕府が全国的に力をもってきたことが分かる。</p> </div> <p>○ 金閣・銀閣の特徴をつかませる。</p> <p>○ 室町文化が今日の生活文化につながっていることに気づかせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>知・理【ノート・発言】 武士や民衆の中から室町文化が生まれたことを理解している。</p> </div> <p>○この時代に活躍した人物の中から好きな人物を一人選んで，その業績をアピールする文章を書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>思・判【ノート・発言】 武士による政治が始まった時期の世の中の様子や活躍した人物の業績がもつ意味を考えている。</p> </div>	<p>資料・準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・源氏の軍の進路 ・壇ノ浦の戦い ・鎌倉への道 ・鎌倉復元模型の写真 ・将軍と武士の関係 ・貴族と武士の生活絵図 ・元軍の進路 ・元寇想像図 ・モンゴル帝国の広がり ・元の国書 ・防塁 ・年表 ・金閣，銀閣の写真 ・人物画 ・人物画 ・年表

7 本時の指導 6 / 8 時間

(1) ねらい

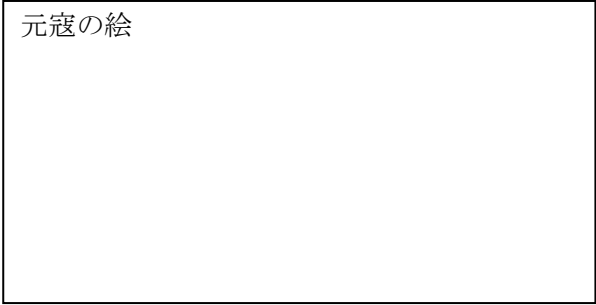
元との戦いについて、効果的に資料を活用して調べ、幕府が全国的に力をもってきたことが分かる。

(2) 指導過程

学習活動（・子供の反応）	指導上の留意点 主な評価規準（方法）	資料
<p>(1) 「元寇想像図」より、戦いの様子をとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・爆弾を使っている ・元は一人を数人で囲んでいる ・元の槍が長い ・石垣みたいなものがある <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px 0;">元との戦いについて調べ、まとめよう。</div> <p>(2) 元との戦いの始まり、経過、結果について調べ、分かったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元の大軍が2度攻めてきた。 ・北条時宗が全国の武士を動員した。 ・武士たちは集団戦術や火薬兵器に苦んだ。 ・武士たちは幕府のために懸命に戦った。 	<p>○使っている武器の違い、戦い方の違いに着目させることで、元との戦いについて関心をもたせる。</p> <p>○最初に教科書を読んで、大まかな出来事をつかませる。</p> <p>○戦いの原因、戦いの経過、戦いの結果をキーワードにして、資料集をもとに調べさせる。</p> <p>○資料を写すのではなく、大事どころだけをメモしたり、自分の言葉に直したりするように指示する。</p> <p>○調べてみての感想や考えたこともメモさせる。</p> <p>○資料から、時宗や武士たちが日本を守るために力を尽くしたことを理解させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">技・表【活動の様子・ノート】 資料を活用し、調べている。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・元寇想像図 ・年表 ・人物画 ・元の国書 ・蒙古襲来（防塁） ・元軍の進路 ・モンゴル帝国の広がり

元との戦いについて調べ、まとめよう。

元寇の絵



【気付いたこと】

- ・爆弾を使っている
- ・石垣みたいなものがある
- ・元は数人で囲んでいる
- ・元の槍が長い

戦いの背景

- ・元は日本も従えようとした
- ・2度北九州に攻めてきた

戦いの経過

- ・集団戦術、火薬兵器に苦しむ
- ・幕府のために懸命に戦った

戦いの結果

- ・元が大陸に引き上げる

↓

幕府が全国的に力をもってきた